

議会だより第33号

平成25年第4回定例議会

11議案を可決

平成25年第4回定例議会が11月6日から21日までの16日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された、いすみ市税条例の一部を改正する条例の制定についてほか10議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

主な議決内容

○工事請負契約（いすみ市学校給食センター建設工事）について、株式会社大城組と契約（12億6507万1500円）することが可決されました。

○台風26号による災害復旧事業に係る補正予算（1億2776万円）が可決されました。

平成25年第4回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	いすみ市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第2号	いすみ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	いすみ市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	いすみ市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	いすみ市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	いすみ市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号	平成25年度いすみ市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第9号	平成25年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第10号	平成25年度いすみ市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第11号	工事請負契約について（いすみ市学校給食センター建設工事）	可決

委員会

審査

報告

11月13日と14日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案を審査しました。

ここでは、委員会で行われた主な質疑及び答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案3件について審査を行いました。

議案第8号 平成25年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 光ファイバケーブル保守委託料の内容について伺いたい。

答 NTT山田交換局管内の東・布施地区の東京電力及びNTT柱に共架している

ケーブルについて、7本の電柱が老朽化により移設することとなったため、ケーブルの移設に伴う保守を行うものです。

民生環境常任委員会

議案5件について審査を行いました。

議案第8号 平成25年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 生活保護世帯は増加しているのか。

答 今年度は10月末までに37件の申請があり、うち32件について認定しましたが、死亡や転出等により31件が廃止となっているため実質1件の増となっています。

産業建設常任委員会

議案3件について審査を行いました。

議案第8号 平成25年度い

すみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 市内における橋梁点検はどれくらい進んでいるのか。

答 市内342橋のうち、国の施策に基づいた重要な幹線道路、緊急輸送路に架かる176橋の点検を実施しています。残りの橋梁につきましても順次点検を実施していきます。

文教常任委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第8号 平成25年度いすみ市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 小・中学校の施設改修工事に関する補正予算が多い理由について伺いたい。

答 既存施設の老朽化が進行し、緊急に改修を要する箇所が増えているためです。

Q&A

一般質問

市政をきく

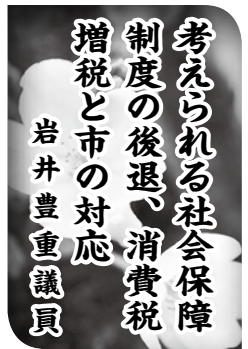
第4回定例議会の一般質問は、11月8日に6名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。

ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第4回定例議会の会議録は3月上旬に公開を予定しています。)

岩井 豊重 議員	考えられる社会保障制度の後退、消費税増税と市の対応／市長として3期目を目指すにあたり“決意”“思い”／放射能から市民を守ること／新年度予算編成に関連して
高森 和久 議員	市制施行10周年を記念して様々な記念行事の実施／平成26年度いすみ市一般会計当初予算編成方針
山口 朋子 議員	食物アレルギー対策と「子ども安心カード」／病児、病後児保育／商工観光の活性化
荒井 正 議員	市民との協働／高校統廃合問題／福祉の充実
高梨 庸市 議員	市民参加のまちづくり／住宅用太陽光発電システム設置補助金／自然を結びつけた観光推進
田井 秀明 議員	救急医療／リズム体操／耐震診断／発達障害児のサポートファイルの活用



岩井議員 社会保障制度の後退について、新年度予算編成前

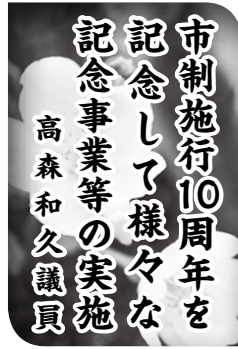
答 今後の動向に注意し、新年度予算編成を行う

の現段階でどのような対応を考えているか伺いたい。

財政課長 現在の交付率等を基準とした推計の中では、消費税増に伴い、歳出では建設事業費等で税率アップによる支出も増えますが、歳入で地方消費税交付金が増収となる見込みであること、また、普通交付税の算定においては基準財政収入額への算入や基準財政需要額で消費税加算分が単位費用として考慮されることなどから、現時点では歳入歳出全体での影響は極わずかではないかと考えています。

2014年度の地方財政収支においても、社会保障や給与関係費など主要歳出が固

まっていることなど不確定要素が多いことから、今後の動向に注意しながら、予算編成方針に沿って、予算の編成をしていきたいと考えています。



高森議員 平成27年度は市制が施行されて10周年の佳節を迎えるが、記念切手・ハガキ等の発行、チャレンジデーに参加するなど、記念事業の準備担当部門を設置し、市の活性化を図る考えはないか伺いたい。

答 10周年という節目を市民とともに盛り上げることは大切である

高森議員 平成27年度は市制が施行されて10周年の佳節を迎えるが、記念切手・ハガキ等の発行、チャレンジデーに参加するなど、記念事業の準備担当部門を設置し、市の活性化を図る考えはないか伺いたい。

副市長 いすみ市は平成27年12月5日で10周年を迎えます。10周年という節目を迎えることを市民にPRすることは、市民の郷土愛の高揚、市全体の一体感の醸成が図られると考えられます。

提案のありました記念切手・ハガキなどの発行は、市内の郵便局の協力をいただき、フレーム切手の発行や記念の年賀ハガキなどの発行も考えられます。また、チャレンジデーへの参加は、実施日が5月の最終水曜日の平日であることから、多くの参加を得るためには、市民の皆さんや市内の事業所、各スポーツ団体の理解と協力をいただく必要があります。

いずれにしても、10周年という節目を市民と共に盛り上げることは大切であると考えますので、実施に当たりましては、実行委員会を作り事業の選定など具体的に行うことが必要であることから、今後十分検討していきたいと思えます。

答 先進地事例を参考に協議・検討する

山口議員 子ども安心カードは緊急時に保育所や学校が救急隊員に情報提供する個人カードであるが、園児、児童・生徒を対象に活用する考えはないか伺いたい。

学校教育課長・福祉課長 現在は、就学前に提出いただく「健康調査票」により疾病やアレルギー症状を確認し、必要に応じて学校生活管理指導表を作成して緊急対応への準備をしています。が、必要な医療情報に特化させた子ども安心カードは様々なケースで役立てることが可能であると思えます。

保育所においても、子ども安心カードは救急隊に必要な個人情報提示することにより、迅速な対応が期待されます。

課題として、個人情報の持ち出しに伴い、保護者の理解と同意、保育所、学校、救急隊、搬送先医療機関での情報媒体の受け渡し等に係る責任管理体制の構築などが必要と考えられますので、今後先進地事例などを参考に関係機関で協議・検討していきたいと思えます。

答 有効な研究方法であるため研究課題とする

荒井議員 個人市民税の5%程度を活用する「市民予算事業」を検討してはどうか。

企画政策課長 市税を地域でより有効に役立てるため、個人市民税の5%の額を「市民予算枠」として、使いみちを市民の皆さんと協議・検討し、小学校区単位の課題解決や、地域のやりたいという思いをかなえるための事業であると思えます。

現在市では、市民からの提案による団体提案型、行政側からの課題提示型による、まちづくり市民提案事業を実施しており、今後見直すべきところは見直しを図りながら、市民の自発的な事業の取組みを支援しているところです。

個人市民税5%を活用する事業については、市民との協

山口議員 子ども安心カードは緊急時に保育所や学校が救急隊員に情報提供する個人カードであるが、園児、児童・生徒を対象に活用する考えはないか伺いたい。

学校教育課長・福祉課長 現在は、就学前に提出いただく「健康調査票」により疾病やアレルギー症状を確認し、必要に応じて学校生活管理指導表を作成して緊急対応への準備をしています。が、必要な医療情報に特化させた子ども安心カードは様々なケースで役立てることが可能であると思えます。

保育所においても、子ども安心カードは救急隊に必要な個人情報提示することにより、迅速な対応が期待されます。

課題として、個人情報の持ち出しに伴い、保護者の理解と同意、保育所、学校、救急隊、搬送先医療機関での情報媒体の受け渡し等に係る責任管理体制の構築などが必要と考えられますので、今後先進地事例などを参考に関係機関で協議・検討していきたいと思えます。

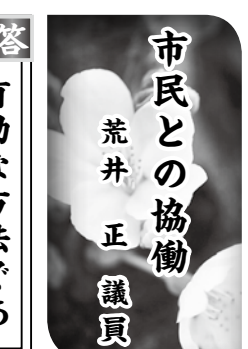
答 先進地事例を参考に協議・検討する

山口議員 子ども安心カードは緊急時に保育所や学校が救急隊員に情報提供する個人カードであるが、園児、児童・生徒を対象に活用する考えはないか伺いたい。

学校教育課長・福祉課長 現在は、就学前に提出いただく「健康調査票」により疾病やアレルギー症状を確認し、必要に応じて学校生活管理指導表を作成して緊急対応への準備をしています。が、必要な医療情報に特化させた子ども安心カードは様々なケースで役立てることが可能であると思えます。

保育所においても、子ども安心カードは救急隊に必要な個人情報提示することにより、迅速な対応が期待されます。

課題として、個人情報の持ち出しに伴い、保護者の理解と同意、保育所、学校、救急隊、搬送先医療機関での情報媒体の受け渡し等に係る責任管理体制の構築などが必要と考えられますので、今後先進地事例などを参考に関係機関で協議・検討していきたいと思えます。



荒井議員 個人市民税の5%程度を活用する「市民予算事業」を検討してはどうか。

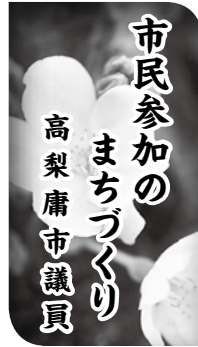
答 有効な研究方法であるため研究課題とする

企画政策課長 市税を地域でより有効に役立てるため、個人市民税の5%の額を「市民予算枠」として、使いみちを市民の皆さんと協議・検討し、小学校区単位の課題解決や、地域のやりたいという思いをかなえるための事業であると思えます。

現在市では、市民からの提案による団体提案型、行政側からの課題提示型による、まちづくり市民提案事業を実施しており、今後見直すべきところは見直しを図りながら、市民の自発的な事業の取組みを支援しているところです。

個人市民税5%を活用する事業については、市民との協

働のまちづくりの切り口として有効な方法の一つでありますので、先進地の例を参考にしながら研究課題とさせていただきたいと思います。



市民参加のまちづくり
高梨庸市議員

答
体制の整備が必須なため、慎重に検討する

高梨議員 道路陥没、ごみの不法投棄など発生した問題に早急に対応し解決するためICT（情報通信技術）を活用した市民からの情報提供の仕組みづくりを構築する考えはあるか伺いたい。

企画政策課長 この取り組みはパソコンや携帯電話、スマートフォンを使用し、市民の皆さんから身の回りで気づいた災害や危険箇所の情報を写真付きレポートとしてウェブ上に市に提供していただき、地域で発生している様々な課題について市民の皆さんと市とで協働

による解決を目的とするもので、現在、千葉市で実証実験が行われています。

市においても、緊急かつ広域的な市内情報の入手により被害の拡大防止や市民が行政と協働でまちづくりに参画しているという意識の高揚にも効果があると思われます。

システムの運営にあたり、個人メールアドレスの漏えいやいたずら投稿、二重投稿を防ぐため登録制による運営が考えられますが、システム導入経費や登録者に登録作業の負担が生じます。また、市民から寄せられた情報に対応するための体制の整備が必要となりますので、導入について慎重に検討していく必要があると思えます。



救急医療
田井秀明議員

答
大切な命が失われることのないよう全力を尽くす

田井議員 救急医療体制のあり方について、特に救命率を向上させるためどのような方策を考えているか伺いたい。

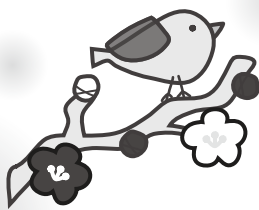
市長 救命率の向上には、迅速な119番通報、迅速な心肺蘇生、迅速な除細動、迅速な二次救命処置の「救命の連鎖」が途切れることなく行われることが重要であり、119番通報、心肺蘇生、除細動については通報者が対応できるものであり、特に心臓が停止した傷病者に対して、救急車が到着するまでの間に現場に居合わせた者がいち早く心肺蘇生を行うことが救命率の向上には有効であると言われていています。なお、除細動については、現在市内の公施設24箇所にAEDが設置されており、救急医療体制のあり方について、特に救命率を向上させるための方策としては、心停止などの現場に立ち会った市民が、心肺蘇生法への関心を高め、正しい知識を身につけて、AEDや心肺蘇生などの救命措置が

行えるよう普及啓発を行うことが有効であると考えています。

今後は、地域の自主防災組織などの団体や地域で活動する関係団体への働きかけを行うとともに、広報紙やホームページなどを活用して啓発を充実し、広域消防と連携を図りながら救急講習会等の開催を検討していきたく考えています。

新議員紹介

平成25年12月1日執行のいすみ市議会議員補欠選挙（定員1）で当選した久我司議員は、議長の指名により12月2日付けで産業建設常任委員会委員に選任されました。



市政を知るために
議会を傍聴しませんか

第1回定例議会日程（予定）

2月25日(火)10時 開会
議案の上程
27日(木)10時 一般質問
3月4日(火)10時 議案質疑
5日(水)9時 委員会
6日(木)9時 委員会
14日(金)10時 委員長報告
議案審議
閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

編集 議会だより編集委員会
☎0470-6211406
ホームページアドレス
<http://www.city.isumi.lg.jp/>
メールアドレス
gikai@city.isumi.lg.jp